

(法第10条第1項関係様式例)

2022年度事業計画書

2022年 4月 1日から 2023年 3月 31日まで

(法人の名称：こどもの未来をかんがえる会)

1 事業実施の方針

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名 (定款に記載した事業) | 具体的な事業内容 | (A)当該事業の 実施予定日時 (B)当該事業の 実施予定場所 (C)従事者の 予定人数 | (D)受益対象 者の範囲 (E)予定人数 | 事業費の 予算額 (単位:千円) |
|-----------------------------|---|--|----------------------------------|------------------------|
| ① 子ども、若者、女性等世代の居場所づくり、交流等事業 | 「カフェ&スペース飛行船」・・・放課後のこどもの居場所づくり、アートセラピーワークショップ及び地域の高齢者など多世代の居場所づくりを行う。 | (A)こどもの居場所:週4日程度 アートセラピー、高齢者等の多世代の居場所: 月1、2回程度 (B)カフェ&スペースひこうせん (C)各回2人~3人 | (D)こども、高齢者等地域住民 (E)10人程度(各回) | 3,516千円 |
| ② 食等を通じたまちづくり事業 | シェアカフェ事業及び必要のある子供たちにお弁当を配色する見守り弁当事業 | (A)シェアカフェ:週4,5日程度、見守り弁当事業 (B)カフェ&スペースひこうせん (C)10人 | (D)地域住民及び子供たち (E)見守り弁当:2人~15人 | 1,553千円 |
| ③ 持続可能な地域づくりに関する事業 | (1)学用品等のリユース・フードドライブ事業、子ども・地域住民参加型のまちづくりイベント (2)富士見まちづくりラボによるまちづくり活動 | (A)(1)居場所、カフェオープン時、又は学校休み期間等(2)随時 (B)カフェ&スペースひこうせん等地域の拠点 (C)10人 | (D)こども、地域住民 (E)年間のべ150人 | 2,857千円 |
| ④ その他この法人の目的を達成するために必要な事業 | より良い居場所づくり活動に向けた研修、学びの場づくり | (A)年2~3回 (B)休日等 (C)1人 | (D)スタッフ等 (E)年間のべ20人 | 50千円 |

(2) その他の事業(特定非営利活動に係る事業以外の事業)

| 事業名 (定款に記載 した事業) | 具体的な事業内容 | (A)当該事業の実施予定日時 (B)当該事業の実施予定場所 (C)従事者の予定人数 | 事業費の 予算額 (単位:千円) |
|------------------------|----------|---|------------------------|
| | | | |

(記載上の注意事項) ※この事項は、提出する様式に記載する必要はありません。

- 1 設立当初の事業年度及び翌事業年度の事業計画書をそれぞれ作成してください。
- 2 「2事業の実施に関する事項」は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載してください。
- 3 2の(1)は、事業ごとに定款の事業名、事業内容、実施予定日時、実施予定場所、従事者の予定人数、受益対象者の範囲及び予定人数並びに支出見込額(収入見込額ではありません。)をそれぞれ記載してください。
- 4 2の(2)は、事業ごとに定款の事業名、事業内容、実施予定日時、実施予定場所、従事者の予定人数及び支出見込額(収入見込額ではありません。)をそれぞれ記載してください。
定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、設立当初の事業年度及び翌事業年度に実施予定がない場合は、「実施予定なし」の旨を記載してください。